

令和元年実施 町政懇談会の記録(01 防災)

地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	回答等の要旨 (※対応予定及び対応済は、朱書きで入力)	担当課等
出作	3月26日	01防災	防災訓練	災害時の対策、対応について、警察部局としても力を入れていきたいと考えている。防災訓練などあれば参加させてほしい。	町は、毎年9月の最初の日曜日に総合防災訓練を実施しており、消防団や自主防災組織が参加している。是非参加いただきたい。 そのほか、各地区や施設等においても避難訓練や防災訓練などを実施しているため、地区や施設と連絡調整して参加いただきたい。	総務課
南黒田	5月7日	01防災	防災訓練	防災訓練日が雨天により中止になった場合、準備にかかった費用について、補助金はもらえないのか。	雨天により防災訓練を中止した場合は、補助金は交付できない。屋内で防災に関する講習会や学習会などを実施した場合には補助金の交付対象となる。講師の派遣については危機管理係に相談してほしい。	総務課
新立	8月29日	01防災	避難訓練	昨年の避難訓練において、避難場所である松前中学校では、町職員が誰か分からなかった。また、避難所職員の人数が少なすぎると思うがどうか。	昨年の避難訓練では、風水害を想定した内容で、避難所のキーボックスの確認、防災倉庫の確認や簡易トイレの設置など避難所運営の訓練を実施した。 その際、各避難所担当職員は、判別しやすいようビブスを着用していた。避難所の運営は、避難所運営マニュアルに基づき、自主防災組織を中心とした避難者が主体となり、2名程度の町職員や施設管理者と協力して運営することとなる。	総務課
上高柳	6月6日	01防災	避難行動	国は、避難行動について5段階の警戒レベルを発表したが、町としての対応はどうか。	町は、気象庁が発表する警戒レベル相当情報を基に、町内河川の水位や上流域の水位の見込みや潮位などを総合的に判断して、避難勧告等の発令のタイミングや、避難区域などの避難情報を発令する。気象情報とともに松前町から発信する災害情報に留意してほしい。	総務課
上高柳	6月6日	01防災	避難行動	お年寄りや体の悪い人は、明るいうちに避難できるように情報を早めにお願ひしたい。	避難勧告の前に避難準備・高齢者等避難開始を発令することとなるので、その段階で早めの避難をお願ひしたい。町としては、避難による2次災害も踏まえて、できる限り早めの判断を心掛けたい。	総務課
上高柳	6月6日	01防災	避難カード	大洲市で作成している避難カードのようなものの導入は、松前町は考えないのか。	避難経路は、災害規模や地区によっても大きく変わってくるため、避難ルートやカードなどのツールについては、まず自主防災組織内で協議いただきたい。	総務課
横田	5月21日	01防災	防災行政無線	防災無線が聞き取れない地区がある。鉄塔を建ててスピーカーの配備はできないか。	防災行政無線が聞こえない対策として、広報まさきのカレンダーの頁に電話サービスの番号を載せている(961-7111)。また、平成30年度には、携帯電話、スマートフォン、ホームページに一斉に防災行政無線の内容がプッシュ型で配信できるシステムを構築したので、是非、利用いただきたい。 後日、指摘された現場で、区長立会の下、聞き取りテストした結果、問題ないことを確認。	総務課
西古泉	5月28日	01防災	防災行政無線	近年の住宅は防音対策も進んでいるため、防災無線も聞こえにくくなっている。	防災行政無線が聞こえない対策として、広報まさきのカレンダーの頁に電話サービスの番号を載せている(961-7111)。また、平成30年度には、携帯電話、スマートフォン、ホームページに一斉に防災行政無線の内容がプッシュ型で配信できるシステムを構築したので、是非利用いただきたい。	総務課

令和元年実施 町政懇談会の記録(01 防災)

地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	回答等の要旨 (※対応予定及び対応済は、朱書きで入力)	担当課等
筒井	8月28日	01防災	防災行政無線	重信川が切れた場合、シミュレーションでは、筒井地区も3～5mの浸水が予想されている。防災行政無線の放送は、家の中にいると聞き取りにくい、各家庭に確実に伝わる方法を考えて欲しい。	防災行政無線の放送については、昨年度に携帯電話やスマートフォンなどに一斉にプッシュ型配信するシステムを導入したので利用してほしい。固定電話の方は、毎月広報のカレンダー欄に電話番号を掲載している。 なお、今年の5月末から防災情報が5段階の警戒レベルに分けられ、気象庁もテレビでしきりにお知らせをするようになった。避難情報などは、町がそのデータを基に判断するため、テレビや市町村の防災行政無線に注意をお願いしたい。 また、重信川が切れてから浸水被害が発生するまでに、多少の時間の猶予があると思われるが、避難に時間のかかる方は、避難準備、高齢者等避難の目安となるレベル3で避難していただきたい。	総務課
新立	8月29日	01防災	防災行政無線	防災行政無線の放送は、はっきりと区切って緊迫感のある放送にしてほしい。	現在の防災行政無線の放送は機械音声であるため、はっきりと区切った場合、聞き取りやすい反面、緊迫感の欠ける放送となる可能性があるため、今後可能な範囲で調整する。	総務課
恵久美	5月31日	01防災	避難場所	避難所となる小・中学校にWi-Fi設備はあるか。	小学校・中学校とも体育館にソフトバンクの無線ルーターを設置しており、Wi-Fi環境は整備されている。 ※災害時においては、携帯会社が無料で開放するが、平常時は、契約者しか使用できない。(R1.6)	総務課
大間	7月5日	01防災	避難場所	一昨年の台風18号の時、大間地区は岡田小学校へ避難してくださいと案内があったが、大間地区は前々から北伊予小学校に避難すると決めている。重信川の決壊を考えると岡田小学校はおかしいのではないか。岡田小学校は水害時の避難所として適しているのか。	地震の場合は、指定避難所を全て開設することとなるが、水害の場合は、町において開設する指定避難所を決め、順次開設することになる。防災のセオリーでは、河川からより離れた場所を避難所として使用するが、台風18号の際には、重信川に近いものの、建物が頑丈で、2階3階の垂直避難もできることから、岡田小学校を指定避難所として開設した。 今後も災害の状況を見極め、どこの指定避難所を開くか検討した上で、避難地域を決めてお知らせすることになる。 また、重信川が決壊した場合、町内全域で浸水が想定されるため、重信川氾濫の減災対策協議会の中で他市町への広域避難も検討している。	総務課
筒井	8月28日	01防災	避難場所	今回の九州の大雨で各地区何万人の避難勧告、指示が出ている。筒井地区を考えても指定避難場所が少ないと思う。また、2年前の台風の時のように、夜に道路が冠水する中を避難するのは危ないため、筒井地区の中で避難場所は考えられないか。	状況によっては、垂直避難よりも避難場所へ避難する方が2次災害のリスクが高くなる場合もある。いずれにしても早めに避難してほしい。水害発生時の筒井地区の避難場所については、一時的な避難とはなるが、コーポ鳥井が緊急避難場所となっている。	総務課
筒井	8月28日	01防災	指定避難場所	指定避難所に何人収容できるか。	指定避難所の収容人数については、地域防災計画の中で、指定避難所の施設管理者に実際使える面積を積算してもらい、一人当たりの㎡単価で割戻した数値をデータとして挙げている。 データ上、町民全員を指定避難場所に収容できないが、現実的には、自分の命を守るために、指定避難所へ避難するだけでなく、町外や他施設への避難等を実施すると考えられる。 その後、避難所で生活する方、家や親類宅で生活する方、要介護者等で福祉避難所に避難する方など、いろいろな避難後の生活パターンがあることから、町民全員が(指定避難場所に)避難し、そのまま避難生活する想定は考えていない。	総務課

令和元年実施 町政懇談会の記録(01 防災)

地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	回答等の要旨 (※対応予定及び対応済は、朱書きで入力)	担当課等
横田	5月21日	01防災	避難所運営	3月の防災士フォローアップ講座に参加して、避難所がパニックになることを実感したが、松前町の小中学校の指定避難所は、教室の割り振りなどの青写真はできているのか。	避難所については、避難所運営マニュアルである程度定めているが、教室の割り振りなどまでは、決めておらず状況に応じた対応となってくる。災害時は、自主防災組織が主体で避難者が避難所を運営することとなるため、協力をお願いしたい。なお、小中学校の管理者とも災害時の対応について、協議していきたい。	総務課
永田	4月24日	01防災	避難所のエアコン	小中学校の教室にエアコンが設置されるが、避難所となる体育館にもエアコンが必要ではないか。	体育館が避難所となった場合の冷暖房対策については、基本的にスポットクーラーや暖房機などをレンタルして対応する方針としている。	総務課
西高柳	3月20日	01防災	重信川	重信川については、台風18号によりパイピングが発生した箇所の災害復旧工事を行っている。自宅前でもパイピングが発生したが、災害復旧工事が実施されていないのは何故か。	平成29年度に発生した台風18号では、28箇所までパイピングが確認されており、14箇所については、国土交通省が応急対応を行っている。その後、重信川堤防調査委員会において原因の究明を行った後、災害復旧工事を実施しており、出水時期までに完了すると聞いている。国土交通省においては、重信川の全川を調査しており、当該委員会において堤防の安定性が不足すると判断された箇所については、順次対策工事を実施することとしている。	まちづくり課
西高柳	3月20日	01防災	重信川	重信川の災害復旧工事をするのは良いが、抜本的に河床掘削をするべきではないか。	北川原の北側にある大新田では、おおむね11,000㎡の土砂を掘削した。今後は河口から上流部分を順次掘削を予定している。	まちづくり課
大間	7月5日	01防災	重信川	平成29年の台風18号による漏水箇所の復旧工事を実施しているが、進捗について聞きたい。	台風18号により28箇所で漏水があり、その内14箇所については、応急対応の工事を行い、その後、本格的な復旧工事を実施し全て完了している。その他の箇所については、重信川堤防調査委員会で検討し、安全性が不足する区間を要対策区間として、順次対策工事を実施していくと聞いている。	まちづくり課
大間	7月5日	01防災	重信川	平成29年に発生した台風18号の被害報告会はあったが、被害箇所の復旧工事終了後の事後報告会は実施しないのか。	国土交通省からは、事後報告会を開催するとは聞いていない。	まちづくり課
上高柳	6月6日	01防災	重信川	平成29年の台風18号の影響により、重信川の左岸堤防で漏水箇所が発見された。現在、国土交通省が改修工事を行っているが、進捗状況が知りたい。	台風18号では、重信川の堤防で28箇所の漏水が発生し、その内、漏水の顕著な14箇所は応急対策を行った上で、国土交通省が復旧工事を実施しており、出水時期までには完了すると聞いている。その他の箇所については、重信川堤防調査委員会で検討し、安全性が不足する区間を要対策区間として、順次、対策工事を実施していくと聞いている。また、今年度は重信川の下流から出合橋までの間、河床掘削を実施すると聞いている。	まちづくり課
恵久美	5月31日	01防災	防災講座	住民の防災意識を高めるため防災講座をもっと増やしてはどうか。	防災訓練や防災講座、防災士の研修などの内容や手法を検討していきたい。 <b>※地区の防災講座の職員派遣要望があれば危機管理係へ相談いただきたい。</b>	総務課
西古泉	5月28日	01防災	雨水	警察学校の南の区域では、大雨時に濁った水が水路からあふれて道路との境界が分からない。水路を改修する必要があるのではないか。	大雨時に道路と水路の境界が分かるよう、境界付近にポールを設置するなどの措置も考えられる。また、警察学校の南の区域を含む筒井地区の水問題については、西古泉と筒井の境界にある水路を改修すれば大幅に解消できることが判明したので、改修工事を実施する。	まちづくり課

令和元年実施 町政懇談会の記録(01 防災)

地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	回答等の要旨 (※対応予定及び対応済は、朱書きで入力)	担当課等
大間	7月5日	01防災	浸水時間	重信川の決壊した場合の浸水時間のシミュレーションは。	時間による浸水シミュレーションについては、国土交通省から資料の提供を受け、防災マップ(風水害編)に掲載している。 ※HPIにも時系列の浸水シミュレーションCG(国土交通省作成)を配信中	総務課
大間	7月5日	01防災	警戒レベル	国の避難に関するレベルが変わったと聞いたがどうか。	国は、5月末に避難行動の5段階レベルを示し、テレビのニュースなどで流している。市町村は、これらの情報を基に川の水位や上流の水位、潮位なども踏まえて避難情報などを発令するので、防災行政無線などの町からの情報発信に注意してほしい。	総務課
筒井	8月28日	01防災	時間降雨量	1時間当たりの降雨量による危険度は想定できないか。	松前町内の河川は潮待ち河川であり、潮の干満により河川や水路の水位が変化するので、降雨量による危険度の想定は難しい。 また、長尾谷川においては、愛媛県が水位計を設置しており、水位の状況等のデータを取得し、今後、検証していくことにしている。	まちづくり課
筒井	8月28日	01防災	義農湛水ポンプ	義農湛水ポンプの排水能力が低いことが原因で浸水が発生している。増設することはできないのか。	抜本的な浸水対策を実施するためには、ポンプを増設することになる。ただし、多額の費用を要することになり、財政面で他の施策に影響を与えることから、費用対効果を検討した上で、筒井浸水対策事業を実施することとした。	まちづくり課
筒井	8月28日	01防災	洪水注意報	今日(8月28日)テレビを見ていたら松前町にも洪水注意報が出たが、状況はどうか。	洪水注意報は、降水量や今後の予測に基づき計算式によって発令される。長尾谷川に関しては、気象庁の机上の計算により発表されたもので、実際に増水はなかった。	総務課
北黒田	6月28日	01防災	災害用品の配備	職員の外出時における被災を想定し、住民に必要な災害用品を持って現場に急行することを目的として、LED懐中電灯、消毒液、ロープ、乾パン等が入った非常用持ち出し袋を公用車に配備してはどうか。	公用車には、ライト、ラジオは装備されているが、ロープ、消毒液は積載していない。配備する災害用品については、何を配備するか研究したい。 住民への備蓄品の提供については、松前町は狭い町であるため、公用車に常に積載された状態にするのではなく、備蓄倉庫から公用車に積み出し、運搬することを考えている。	総務課
大間	7月5日	01防災	土のうの配備	土のうは消防署に行ったらもらえるのか。	消防署に土のう備蓄倉庫を設置し、常時2,500体備蓄している。消防署に取りに来ていただければ町としてもありがたいが、体が弱い方、高齢者などは、消防団、役場、消防署に連絡いただければ配達する。	総務課
北黒田	6月28日	01防災	防災力の強化	町職員全員が心肺蘇生や怪我の手当てに関する資格で、日本赤十字社が認定する「救急法救急員」の取得を目指してはどうか。また、自主防災組織の防災士が同資格を取得する際に支援を検討できないか。	職員に対しては、AEDを導入した際、消防機関が認定する「救命救急講習」を受講させており、大多数の職員が修了している。同講習は、心肺蘇生、AEDの使用など「救急法救急員」と内容が重複するため、職員の同資格取得は考えていない。また、防災士が同資格を取得する際の支援については、防災士の資格取得要件に、救命救急講習の修了が必須となっており、「救急法救急員」と同様の講習を既に受講していると考えられるため、同取得の支援は検討していない。	総務課
北川原	7月11日	01防災	防災士候補の推薦	自主防災組織が防災士候補を選ぶ際に、女性を推薦してほしいとの要望があったが、男性ではだめか。	地区によっては、女性が少ないところがあるため要望した。女性でないといけないということではない。	総務課
本村	5月24日	01防災	通学路のブロック塀	通学路にある危険なブロック塀は、個人の所有物であるので行政は対応できないが、今後どのようにしていくのか。	個人で管理しているブロック塀の点検等は、自主的に実施してほしい。 国では、ブロック塀の改修経費に対して補助する制度を策定したので、現在、町の補助制度を検討をしている。	まちづくり課
大間	7月5日	01防災	南海トラフ大地震の備え	南海トラフ大地震の備えを強化してほしい。また、中央構造線の被害も想定した対策をどういった形でとるか検討していただきたい。	公助(町職員)だけでは対応できないため、自主防災組織及び消防団の協力をいただき、共助を含めた防災減災に努めたい。防災訓練などの機会を捉えて防災意識を高めるなどするほか、備蓄品についても計画的に確保していく。	総務課

## 令和元年実施 町政懇談会の記録(01 防災)

地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	回答等の要旨 (※対応予定及び対応済は、朱書きで入力)	担当課等
新立	8月29日	01防災	液状化対策への補助	昨年の町政懇談会において、液状化対策に対して国、町の補助があるのか尋ねたが回答がない。	昨年の町政懇談会において、持ち帰り確認することとしており、後日、町の補助については、ないことを区長に返答した。国の補助については、改めて確認し、後日、区長に返答する。 <b>液状化対策について、国からの補助はない。</b>	まちづくり課
大間	7月5日	01防災	火災のサイレン	最近、火災の際にサイレンが鳴らないのではないかと。消防団の出動はどうするのか。	近年の住宅火災については、現場に近い方面隊が属する地域の防災行政無線でサイレンが鳴り、その方面隊の消防団が出動するケースが多い。消火活動については、伊予市、松前町、砥部町の消防署が連携して消火にあたるため、消防団は後方支援だけの場合が多くなっている。	総務課

36件